

平成28年度主要施策 ～市民協働による着実な市政を推進～

選ばれるまち・活躍できるまちの実現に向けて

◆定住・交流人口の獲得を目指したまちづくり

「長浜曳山まつり」を世界に向けて発信
 長浜曳山まつりのユネスコ無形文化遺産登録（平成28年秋季予定）を契機に、秀吉公の時代より人から人へと代々受け継がれてきた曳山文化を地域の宝・市民の誇りとして、町衆の心意気とともに広く国内外に発信し、歴史文化を生かしたまちづくりを推進します。



▲長浜曳山まつり 子ども歌舞伎

予算額 3,706万円

伝統芸能の保存・継承

長浜を含む全国各地の伝統芸能を一室に集めて「日本の祭りinながはま」を10月に開催。中心市街地をメイン会場として各芸能団体の公演を行います。全国各地から観光客を呼び込むとともに、集落ごとの伝統・文化への誇りを高め、地域に残る祭りの保全・伝承を目指します。



▲丹生茶わん祭

予算額 4,500万円

東京で市の魅力を発信

市の情報発信拠点「びわ湖長浜 KANNON HOUSE（観音ハウス）」を東京上野に開設。本物の観音像展示とともに、パネルや映像で市の魅力を紹介します。併せて、7月には東京藝術大学大学美術館で東京観音展を開催し、全国に向けて長浜を発信します。



▲KANNON HOUSEの内観

予算額 6,600万円

U/Iターナー起業者をサポート

新たな雇用の創出と地域産業の活性化を図るため、市外から転入し起業する人を対象に、設備費、不動産購入費・家賃、引越費用、広告宣伝費等を補助します。



▲起業セミナーに参加して夢を掴もうとする人たち

予算額 250万円

◆オール長浜で進める子育て支援・教育力の向上

健やかな育ちを推進

子育て世帯が仕事と子育てを両立できるように、放課後児童クラブ待機児童ゼロに向けた取組を推進します。公設・民間の放課後児童クラブに加え、自治会や地域づくり協議会等が自治会館などを利用して行う放課後の居場所づくりに補助を行うことで、児童の放課後の過ごし方の充実を図り、子育てにかかる負担の軽減と子どもの健やかな育ちを推進します。

予算額 2億3,207万円

アスリートの輩出を目指す

東京オリンピック・パラリンピックや滋賀国体を見据え、小学3～5年生の希望者を対象に、大学等と連携した運動能力育成プログラム等を実施します。

予算額 85万円

理系人材を育てる

長浜バイオ大学に整備された「学びの実験室」を活用し、市内全小中学校の児童・生徒を対象に、高度な実験機材を用いた大学教授による授業、親子科学実験講座、教員向けの研修会など、特色ある教育・人材育成を行います。

予算額 411万円

小学校給食費を無料化

小学校の給食費を9月から無料化します。次代を担う子どもたちの成長を市民全体で支え、安心して子育てができる環境を整えます。また、給食費の無料化を通して、地域の人に支えられていることに感謝できる子どもを育てます。

予算額 1億6,520万円

安心・安全な給食を提供

老朽化等が進む市北部地域の学校給食センターと3つの自校式調理場を統合し、新たな拠点センターづくりを進めるための建築設計に着手します。

予算額 6,400万円

病児保育・産後ケアのサービス向上

女性が働きながらでも安心して子どもを生み育てられる環境、子育て世代が活躍できる環境を整備するため、病児保育事業や産後ケア事業を行う医療法人等に対し、開設に必要な改修工事費や、病児保育にかかる運営に必要な経費を補助します。

予算額 2,090万円

多子世帯の保育料負担を軽減

幼稚園・保育所・認定こども園の保育料を、保護者の所得に関係なく、すべての第2子を半額、第3子以降を無償とします。

軽減見込み額
2億3,390万円



▲放課後児童クラブ



▲大学での科学実験授業



▲学校給食



▲笑顔いっぱいの園児たち